

2003年9月26日

報道用資料

ハイブリッド車や安全技術に強い関心

2003年日本自動車先進技術調査

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J. D. パワー アジア・パシフィック（本社東京、蓮見南海男社長、略称 J. D. パワー）は、2003年日本自動車先進技術調査の結果を発表した。

当調査は、自動車先進技術について日本の消費者の認知度、関心度および購入意向について調べるもので、昨年に引き続き今回で2回目となる。12種類の主要先進技術に加え、関連する技術/装備、さらには音声コントロールに関する項目についても調査を行った。調査対象者は、過去6年以内に新車を購入またはリースした消費者で、8,328人から回答を得た。なお、米国、欧州については J. D. Power 本社（J. D. Power and Associates）により同様の調査が実施されている。

◆ハイブリッド車、年齢層の高い消費者から支持を受ける◆

環境問題への関心が消費者の間で高まる中、今回の調査技術の中でハイブリッド車がナビゲーションシステム、ナイトビジョンに続き高い関心を集めている。特に、年齢層の高い消費者に、これら環境にやさしい車への支持の高さが見られる。

ナビゲーションシステムは、今回調査における最も関心度の高い技術であり、認知度の高さでも2番目と既に消費者にとっては馴染みの深い技術である。さらに今回の調査対象技術を含むオプションリストの中からオプション購入費35万円の範囲で回答者より装備したいオプションについて複数解答を得たところ、ナビゲーションシステムがリスト中で最も装備意向が高くなるなど、消費者にとって必要不可欠な技術となりつつあることを示す結果となった。しかしながらナビゲーションシステム保有者の現保有システムに対する満足度は必ずしも高いものではなく、特に地図情報の自動更新やリアビューカメラ対応など、より便利で高機能なシステムを望んでいることが明らかとなった。

昨年調査と同様の傾向として注目される点としては、消費者はヒート/クールシート、ワイヤレス接続システムやリアシート・エンターテインメントなど利便性や快適性を向上する技術に比べ、ナイトビジョン、車外サラウンドセンサー、ブレーキバイワイヤなど安全に関連する技術により高い関心度を示していることである。これは安全関連技術のもたらす恩恵について消費者の理解度が高まっていることをうかがわせるものである。

調査に含まれる多くの新技術は消費者から高い関心を持たれる一方で、現実的な市場価格を提示して

装備の意向を尋ねると大きく関心度が低下してしまう場合がある。特に顕著なのがナイトビジョンであり、関心度が2番目に高い技術であるが、市場価格の提示を行うと関心度が大幅に低下する結果となった。同様な傾向は、車外サラウンドセンサー、ナビゲーションシステムについても見受けられる。同時にMP3等の圧縮音楽フォーマットを再生可能なオーディオシステムやスマートセンシングウィンドーなど提示価格によっては価格を提示する前の関心度を上回るケースもあり、これら先進技術を市場に投入する際、技術そのものの消費者の関心度に加え、設定価格が消費者の購入意向に大きく影響することが明らかとなった。

◆ETCシステムの関心度の高まり◆

認知度の最も高い技術/装備は自動料金収受システム(ETC)で、55%の消費者がこのシステムについて「よく知っている」と回答している。関心度についても55%と同等であり、ETCシステムの消費者への浸透度合いの高まりを示している。さらにETCユニット保有者に関心度を尋ねたところ、ほぼ全員に近い回答者が次回新車購入時にETCを装備したい意向を持っており、ETCシステムの利便性の高さを裏付ける結果となった。さらに昨年度の調査時に2%程度であったETC保有率が今年度の調査回答者の間では約6%と大幅な伸びを見せている。特にETCユニット価格の低下など初期導入費用が低くなっていることに加え、利用料金割引等のETC利用促進策がETCシステムの普及の後押しとなっているとJ.D.パワーでは見ている。

<株式会社J.D.パワー アジア・パシフィックについて>

当社はJ.D.パワー・アンド・アソシエイツ(略称JDPA、本社米国カリフォルニア州)の日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として1990年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。インターネット上でホームページを開設しており、会社概要や提供しているサービスなどの情報を次のアドレスで入手できる。

J.D.パワー アジア・パシフィック ホームページ <http://www.jdpower.co.jp>

<本調査に関するお問い合わせ先>

(株)J.D.パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション 川野

住 所： 東京都中央区日本橋富沢町10-16 マイアーク日本橋ビル(〒103-0006)

電 話： 03-5695-4568

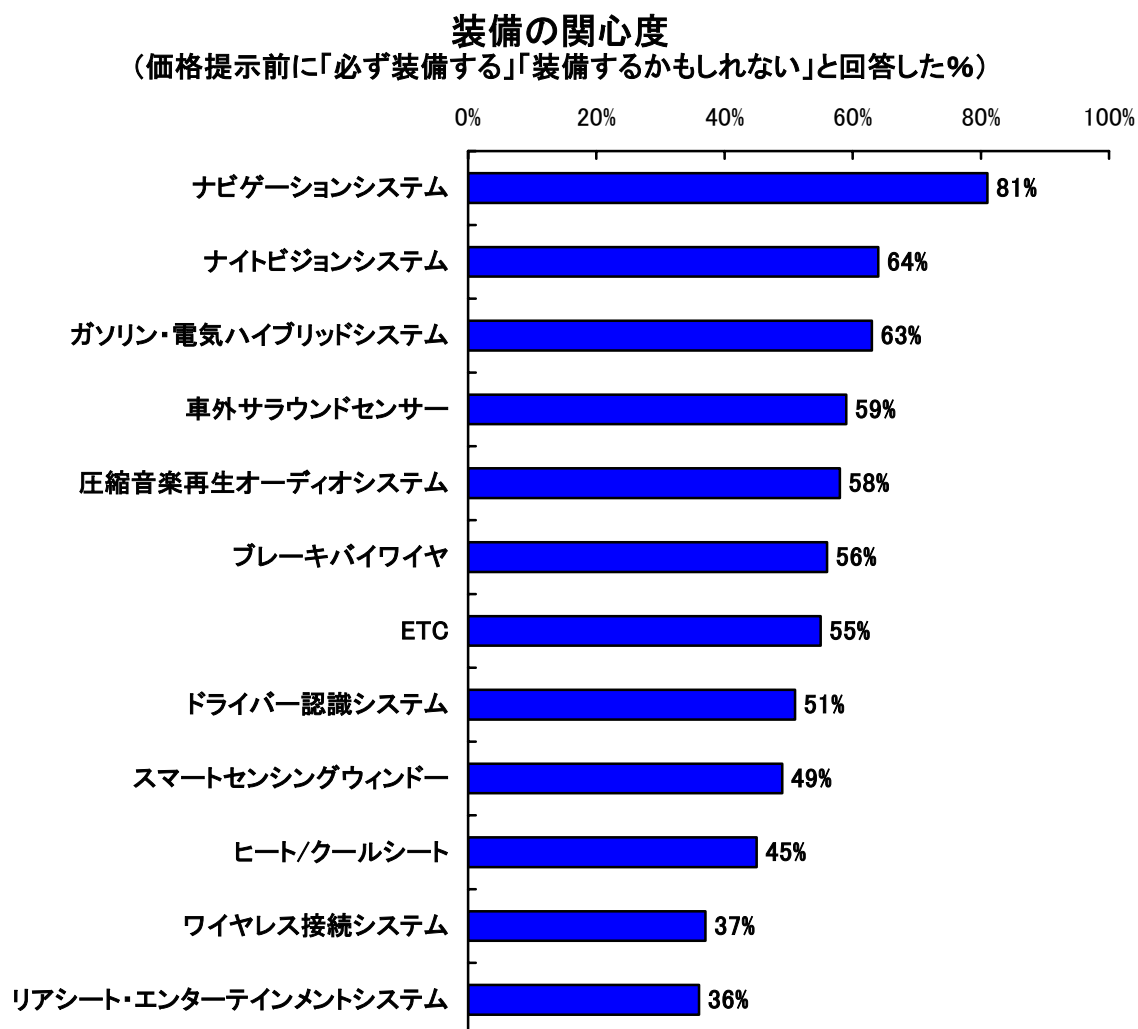
F A X： 03-5695-0617

e-mail： mkawano@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D.パワー アジア・パシフィックの許可なく本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本自動車先進技術調査SM



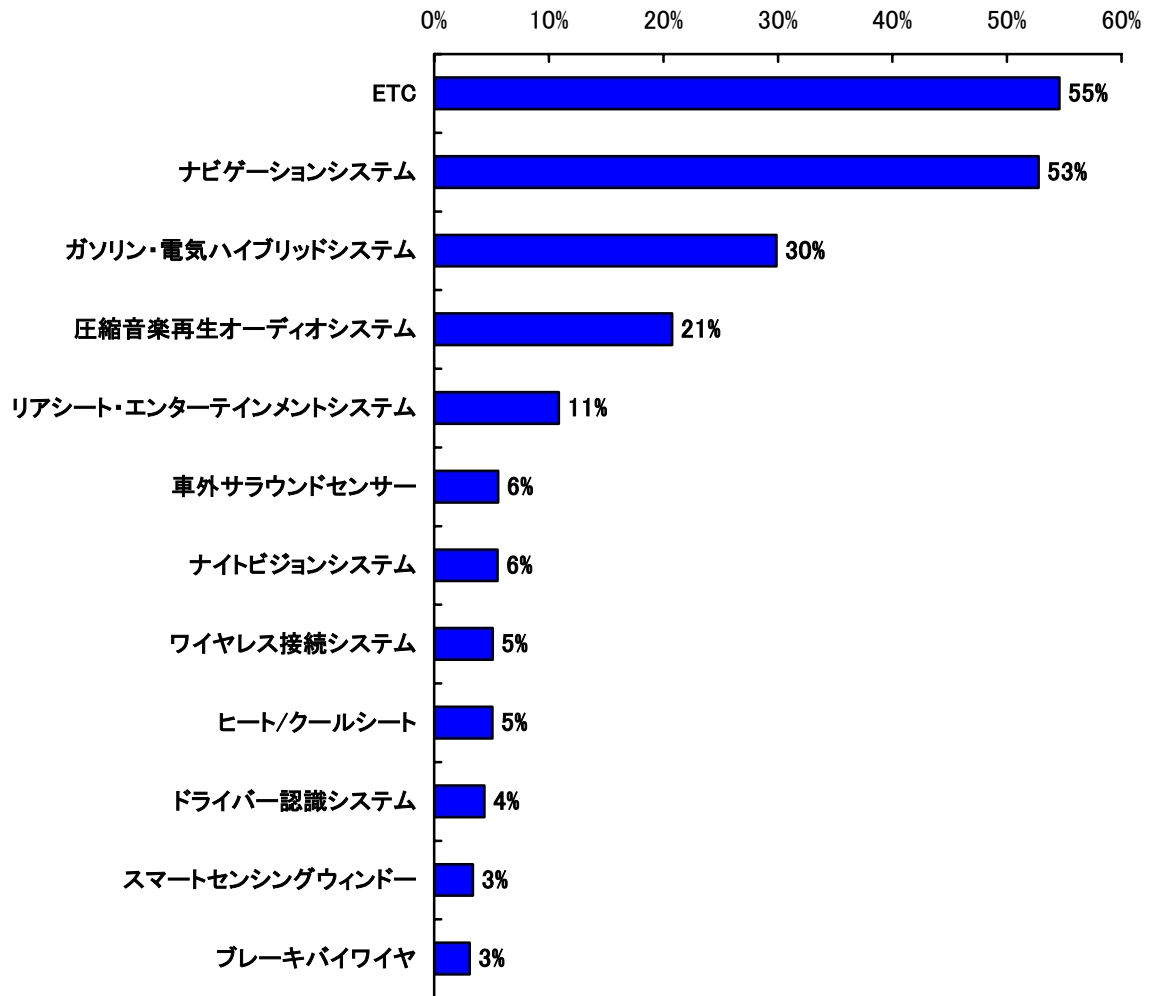
出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本自動車先進技術調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典 (J.D. パワー アジア・パシフィック 2003年日本自動車先進技術調査SM) を明記して下さい。

J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本自動車先進技術調査SM

装備の認知度
(「よく知っている」と回答した%)



出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本自動車先進技術調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典 (J.D. パワー アジア・パシフィック 2003 年日本自動車先進技術調査SM) を明記して下さい。